

①-1 多種多様なスポーツ施設の整備

スポーツ目的での来訪者を増やすため、南部東部地域の様々な場所で多種多様なスポーツ施設を整備します。

スポーツ施設整備箇所(案)

- 京奈和自転車道の整備(御所市、五條市)
京都・奈良・和歌山をつなぐ自転車道の一部として、五條地域において快適な自転車走行空間を整備
- 五新鉄道跡地を活用したランニングステーションやサイクルピットの整備(五條市)
地域の施設を活用したランナーや自転車の利用施設を整備
- 木造体育館&宿泊施設整備(五條市)
体育館と宿泊施設を併設し、合宿を促すため整備
- 屋根付きフットサル場・グランド芝生化やトレーニングルームの整備(下北山村)
自主トレやキャンプなどスポーツの合宿を促すため、屋根付きフットサル場及びグランドの芝生整備やトレーニングルームなどを整備
- 洞川スキー場施設整備(天川村)
スキー場ヘリフトや人工降雪機など施設設備の充実
- 温水(泉)プール・リハビリ施設の整備(五條市、十津川村)
高齢者が集まれるプールやリハビリ施設を整備
- ダム湖での舟遊び施設・設備の整備(川上村)
ダムを活用し、カヌーやスワンボードなどの船遊びを実施するための施設・設備を整備

など



京奈和自転車道の整備

目的

- 京都府、和歌山県と連携し、京都府の嵐山から和歌山県の和歌山港までを貫く広域周遊自転車道を整備し、自転車による広域周遊観光の促進と、旅行者と地域のふれあいの場づくりによる地域活性化の実現を図ります。
- 京都府域の木津川自転車道、和歌山県内の紀ノ川自転車道を結ぶ県内のルート設定・整備と宿泊施設や飲食・トイレなどの休憩施設の整備を実施します。

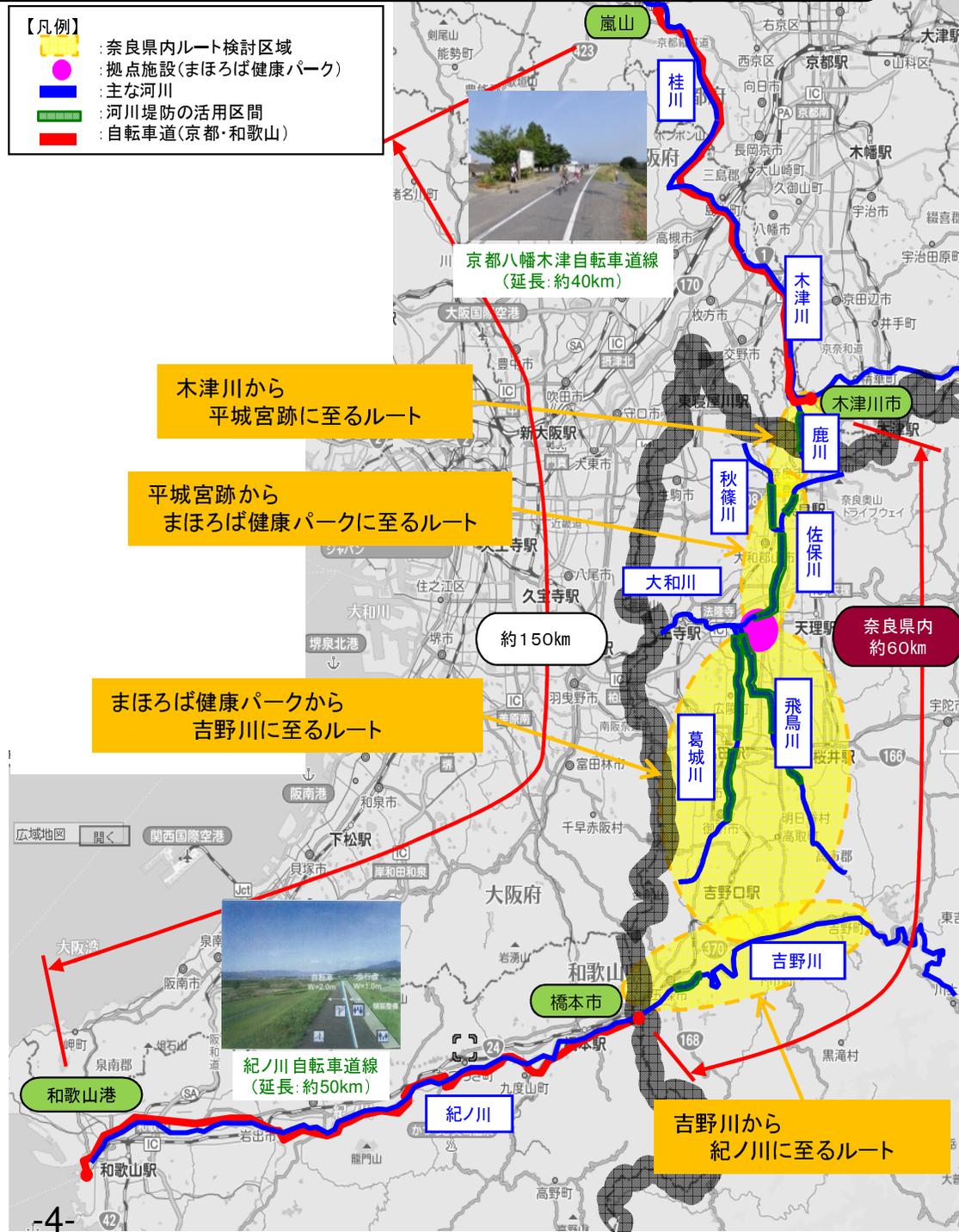
取組内容

- 県内を一本貫くルートの確定と整備。あわせて、寄り道できる支線ルートの検討・整備。
- ルートの中間地点となる「まほろば健康パーク」に宿泊、食事・休憩などを兼ねたサイクリストの拠点施設を整備。
- 京奈和自転車道を軸とした周遊観光、着地型旅行商品の企画・開発・販売。
- 京奈和自転車道を活用した沿線イベントの企画・実施。

目標

東京オリンピックが開催される2020年を目標に以下の実現を目指す。

- 県内縦貫ルートの整備完成。
- 自転車利用拠点及び休憩所施設の整備。
- 各種プロジェクトと連携した世界に通用する魅力ある観光地域づくり。



①-2 特色ある食と宿泊施設の整備

特色ある宿泊施設を整備することで、南部東部地域での宿泊者を増やします。

整備箇所(案)

〇ぐるっとオーベルジュの整備

(眺望の良い場所で検討中)

なら食と農の魅力創造大学校と連携により、地域の「食」と「泊」を売りにした施設をネットワーク化して整備

- ①開設手法 公設民営方式
※建設、整備は市町村が行い、運営は民間(指定管理等)
- ②候補地(検討中) 御杖村、野迫川村
- ③付帯整備施設候補
・バイオマス温水プール、特産品販売施設 等
- ④事業手法 過疎債を活用し、交付税措置を受ける
※充当残については、県が補助
- ⑤従業員等
・シェフ等は、なら食と農の魅力創造国際大学校の卒業生(H30.4~)の就職先の一つとして想定、一般の従業員は、地元雇用
※実践オーベルジュ棟の指定管理者等アドバイザーからの助言、指導
- ⑥広報・PR
・“ぐるっとオーベルジュ”として、県が主体的に全国的にPR

〇ライダーハウス整備(五條市)

旧大塔中学校を利用したライダーの休憩施設を整備

〇農業体験向けゲストハウスの整備(山添村)

旧春日保育園を活用した地元住民と都市住民の交流拠点(かすがガーデン)を整備

〇洞川温泉の薪ボイラー整備(天川村)

温泉の源泉熱源のため薪ボイラー施設を整備

〇農家民宿の開業支援

農業体験やその土地の生活を体験できる施設の開業支援など



ぐるっとオーベルジュの展開

南部東部地域における公設民営のオーベルジュ整備に対して支援を行い、「なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」と連携して、地域の「食」と「泊」を売りにした施設をネットワーク化して、一体的に地域の活性化を図ります。

◇オーベルジュの整備に関する考え方（案）

①開設手法

- ・ 公設民営方式
- ※建設、整備は市町村が行い、運営は民間(指定管理等)

②候補地（検討中）

- ・ 御杖村、野迫川村

③付帯整備施設候補

- ・ バイオマス温水プール
- ・ 特産品販売施設 等

④事業手法

- ・ 過疎債を活用し、交付税措置を受ける
- ※充当残については、県が補助

⑤従業員等

- ・ シェフ等は、なら食と農の魅力創造国際大学校の卒業生（H30.4～）の就職先の一つとして想定
- ・ 一般の従業員は、地元雇用
- ※アドバイザー等からの助言、指導

⑥広報・PR

- ・ “ぐるっとオーベルジュ”として、県が主体的に全国的にPR



②「なら四季彩の庭」づくりプロジェクト

南部東部地域に訪れたいくなる魅力的な場所を作りだすため、豊かな自然の恵みを生かし、四季折々に豊かな彩りを五感で楽しめる植栽や景観づくりを行います。

※「なら四季彩の庭づくり」とは、県全体を一つの庭として、植栽を通じて魅力ある庭づくり、さらには美しい景観づくりを行うものです。

明日香村 八釣・東山周辺古道

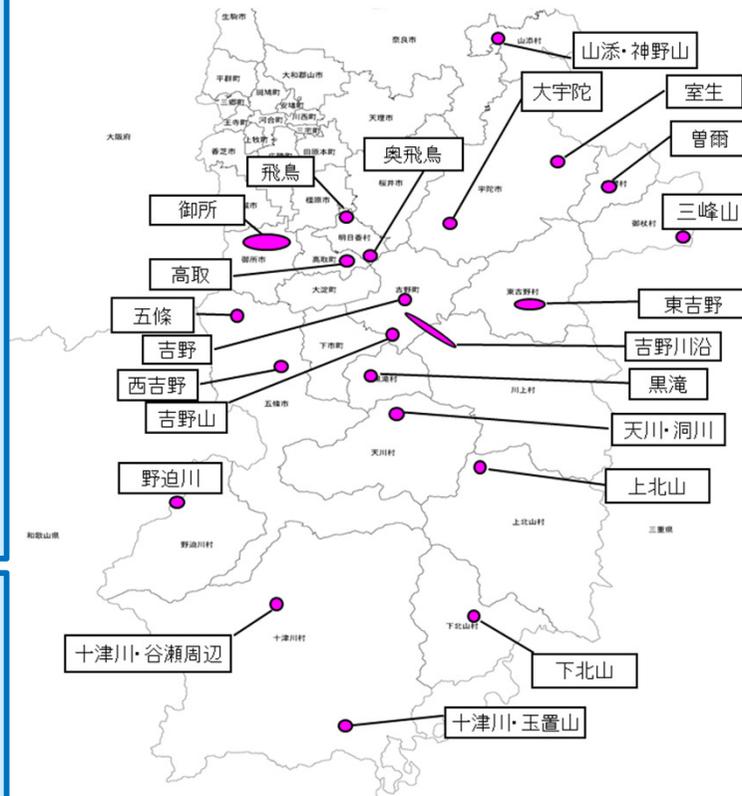


多武峰古道整備と眺望を遮る支障木の伐採、彩りのある樹木の植栽、遊歩道の改修、休憩施設の設置、眺望施設の整備等を行う

野迫川村 高野龍神スカイライン ～鶴姫公園入口周辺



鶴姫公園入口付近に低木や花を植栽し、スカイラインから展望台へ続く道等が人目を引くように景観形成を図る



曾爾村 曾爾高原



国の天然記念物である鎧岳、兜岳、屏風岩などの雄大な山並みを望むことのできる高台に眺望テラスを整備し、夕景スポットを創出する

宇陀市 赤埴カトラ線周辺



林道赤埴カトラ線に接続する遊歩道の補修、支障木の伐採、彩りのある樹木の植栽、破損した橋の撤去、河川整備等を行う



③集客イベントの展開

南部地域への通年での交流人口の増加をめざし、切れ目ない魅力的なイベントを展開します。

③-1 スポーツイベントの開催

ランナー向け

トレイルランニング

- ・Kobo-Trail(吉野町・天川村・五條市・野迫川村) →②⑥169人
- ・小辺路トレイルジャーニー(野迫川村・十津川村)
- ・御杖村トレイルランニングイベント(御杖村)



マラソン

- ・五條市駅伝大会(五條市) →②⑤168人
- ・昴の郷マラソン大会(十津川村) →②⑤489人
- ・宇陀シティマラソン(宇陀市) →②⑤1,518人
- ・やまぞえ布目マラソン(山添村) →②⑤948人
- ・大台ヶ原マラソン(上北山村) →②⑥200人



自転車

自転車レース・イベント

- ・ヒルクライム大台ヶ原(上北山村) →②⑥742人
- ・山岳グランfondin吉野(吉野町・下市町・大淀町・天川村・黒滝村・五條市・野迫川村・東吉野村) →②⑥428人
- ・奈良全域サイクルスタンプラリー(五條市・吉野町・下市町・大淀町・明日香村・高取町・十津川村・東吉野村・宇陀市)



アウトドア

アウトドアスポーツ

- ・カヌーフェスティバル(川上村) →②⑥50人
- ・カヌー教室(宇陀市、川上村) →②⑥171人、97人
- ・ボルダリングコンペ(天川村)
- ・ロハス・ヨガin奥大和(十津川村・東吉野村)



その他

スポーツキャンプ等の誘致

- ・プロ・アマスポーツのキャンプ、自主トレの誘致(下北山村)
- ・2019ラグビーワールドカップ・2020東京オリンピックパラリンピック事前キャンプキャンプ地招致
- ・学生等の合宿開催支援



③-2 音楽・芸術イベントの開催

音楽・芸術イベント

- ・ムジークフェストなら(各地) →②⑥五條市85人、御所市740人、明日香村150人、下北山村60人、川上村340人
- ・アートウィークin菟田野(宇陀市)
- ・野外フェス「DOROGAWAロックフェス」(天川村)



③-3 地域資源を活用したイベントの開催

特産品

- ・なんゆう祭 →②⑥20,000人
- ・キッチンカー・プロジェクト
- ・こうのさんの手づくり市(山添村)



温泉

- ・温泉スタンプラリー(五條市、下市町、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、東吉野村、宇陀市、曾爾村)
- ②⑥十津川村13,322人



雪・霧氷

- ・雪まつり(野迫川村)
- ・霧氷まつり(御杖村)
- ②⑤5,500人
- ・和佐又山霧氷バスツアー(上北山村)



伝統行事

- ・伝統行事の活性化(各地)
- ②⑤下市初市10,000人
- ・つり橋まつり「揺れ太鼓」(十津川村)



花

- ・花見イベント(梅、ツツジ、あじさい、オオヤマレンゲ、カタクリ、花しょうぶなど)
- ・広橋梅林梅の里山祭 →②⑥600人
- ・吉野山、又兵衛、佛隆寺、大野寺の桜(吉野町・宇陀市)
- ・天の川もみじまつり(天川村)
- ・曾爾高原ススキ山灯り(曾爾村) など



④ 奥大和直行バスの運行

南部東部地域への交流人口の増加を目指し、主要ターミナルや観光地からの直行バスの運行や路線バスの利用助成を展開します。

○直行バスの運行、
路線バス利用への助成

〈対象地(候補)〉

天川村・洞川温泉
 十津川村・十津川温泉ほか
 吉野町・吉野山
 下北山村・スポーツ公園
 上北山村・和佐又山
 御杖村 三峰山
 東吉野村 高見山 等

